

北上市総合計画 2021～2030 令和6年度基本施策事後評価シート（評価対象期間:令和5年度）

基本方針	6.健康と安心の地域づくりの推進
基本施策	6-1.自分らしい生き方を支える健康寿命の延伸
関連するプロジェクト	6.いきいき元気ライフプロジェクト

市民の主体的な健康づくりと生きがいづくりを支援するため、活発な地域活動の継続と健康増進への気運をさらに高めるとともに、最新技術を活かした医療・介護を提供する取組の推進、適切な感染症対応や持続可能な社会保障制度の運営を図ります。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

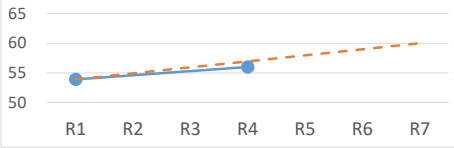
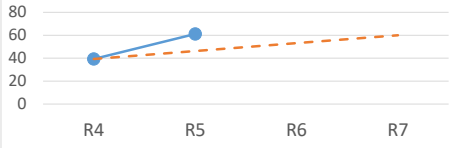
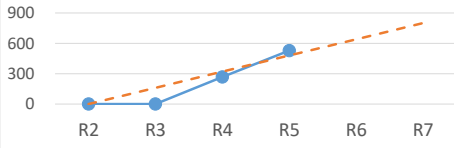
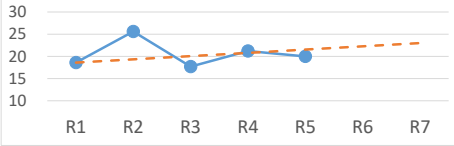
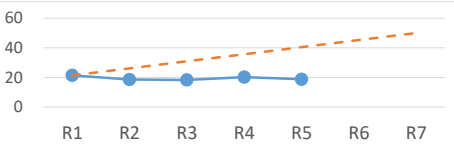
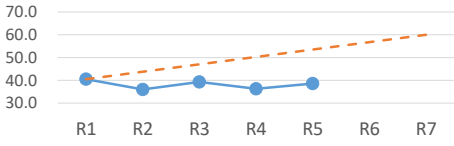
総合評価
C

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

R6事後
13

No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針		成果 指標	達成状況(対象:R5) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況 評 価	達 成 状 況 分 析 (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R6に着手予定・着手済み ◆:R7以降の着手を検討)
								内部要因	外部要因	
1	福祉 部		在宅医療 等の推進 と医療・ 介護連携 の強化	在宅医療を支える資源の充実と資源間ネットワークの構築を進めるとともに、病院入退院時における医療・介護の多職種連携の円滑化を進め、スムーズな在宅療養生活への移行を進めるとともに、遠隔診療を活用した地域における医療環境の充実を図る。	①	・在宅療養・在宅介護を希望する人の割合については、期待値を下回っているものの増加傾向である。 ※指標①の数値は3年毎の介護保険計画の際のアンケート調査によるもの。	B	認知症サポーター養成講座の実施や、相談窓口(地域包括支援センター等)の周知活動といった日頃の取組の継続によって、在宅療養・介護を希望する人が住み慣れた自宅で介護サービスを受けながら安心して暮らすことのできる連携体制が整ってきており、それが市民の意識にも現れてきている。	ひとり暮らし老人及び認知症高齢者の増加・世帯人員の減少などにより在宅で介護することが難しいケースが多くなっている。	◇改訂した入退院支援ハンドブックを活用し、連携を更にスムーズに進める体制を作る。 ◇きたかみ型地域包括ケアの構築に向け、研修や支援体制を整備し各機関との連携を推進する。
						・厚生労働省の地域包括ケア「見える化システム」の実績値により、在宅療養を支える医師や介護職等、多職種の連携が進んでいる。 ・在宅医療介護連携推進協議会 3回 ・在宅医療介護連携支援センターの設置 1か所 ・在宅医療介護連携支援センター相談対応件数 89件	(B)	・在宅医療介護連携推進事業における事業については、順調に進んでいる。 ・在宅医療介護連携支援センター設置から8年経過し、窓口の認知度が向上している。また職員の相談対応能力も向上している。	在宅医を支える、岩手県医師会委託事業の「在宅待機支援事業」の実績が順調に推移し、在宅医の不在の際のサポート体制が構築されている。	
2	福祉 部	●	フレイル 予防の推 進	フレイルへの理解を広め、「身体的な衰え」「精神的・心理的な衰え」「社会的な衰え」の進行を予防する取り組みを推進する。	②	・心身ともに健康だと感じる人の割合(70歳代以上)は61.1%となっており、令和4年度の39.3%より増加している。 ※指標②の数値は市民意識調査によるもの	B (B)	フレイル予防の啓発のため、『きたかみいきいき通信』『いきいき応援カレンダー』を毎月発行し、セルフケアの促進に取り組んだ。		◇地域包括支援センターと連携し、新たな体操グループの立上げ支援に取り組む。 ◇誰でも気軽に運動や健康相談等ができる場として、通年で「hoKkoまちの保健室事業」を継続し、住民が主体となって継続的にフレイル予防に取り組めることを目指す。 ◇フレイル予防について、庁内連携しながら周知、啓発を行う。
						・誰でもいつでもフレイル予防に取り組める事業の推進 通いの場のグループ数74グループ ・hoKkoまちの保健室事業新設…1か所(概ね週1回)・46回・参加者延べ人数841人 ・栄養バランスが学べるランチョンマットを活用し、庁内連携をしながら住民へのフレイル予防の周知、啓発を行った。		・フレイル予防・健康づくりの場として、「まちの保健室事業」を令和4年度より開催回数を増やして実施し、参加者も増加した。併せて、高齢者が屋外で安全に運動するためのコンテンツとしてボールウォーキングの普及を行った。 ・他課と連携することで、フレイル予防に周知、啓発を広く行うことができた。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、集合による活動ができず通いの場の活動が停滞したままとなっているグループが見られた。 ・新型コロナウイルス感染症の流行が長期化したことにより、住民の集合による活動への意識が低下した可能性がある。	
3	健康 こども 部	●	健康づく りへの支 援	働き盛り世代の生活習慣病予防や、高齢者の疾病の重症化予防と介護予防を一体的に推進する等、健康診査の結果を基に各年代に応じた保健指導を充実・強化し、市民の生活習慣病予防や疾病の重症化予防の意識啓発を進め、健康寿命のさらなる延伸を目指す。	③⑤⑥	・健康福祉ポイントの3,000ポイント達成者は期待値を上回った。 ・特定健診受診率は、令和4年度より上昇したが、期待値を下回っている。 ・後期高齢者健康診査受診率は、令和4年度より減少し、期待値を下回っている。	C (C)	・健康福祉ポイント事業は2年目となり、イベント等も継続的に実施し参加者に定着してきた。 ・予約制の日程の導入や目立つ受診券送付用の封筒を活用することにより、受診率の向上に取り組んだ。	・医療機関に通院しているため健診を受けないと考えられる対象者が、全体の約3割に上っている。	◇健診会場で特定保健指導初回面接を実施し、生活習慣改善について早期から意識づけを図る。 ◇アウトリーチでの保健指導や広報等での啓発活動を実施し、生活習慣病予防や疾病の重症化予防を図る。 ◇健診のお知らせを改善し、受診の仕方についてわかりやすい案内を行っていく。 ◇継続して国民健康保険被保険者に対する人間ドック受診料助成を実施していく。 ◇継続して安心して健診を受診できる環境の整備を行っていく。 ◇健康福祉ポイント事業において、対象イベントの拡大及びウォーキングコースの追加設定によりアクティブ参加者の拡大を図っていく。
						疾病の早期発見早期治療に繋げるため、国民健康保険被保険者198人に人間ドック費用の一部を補助した。		特定健康診査の対象外となる40歳未満の者や特定健康診査項目以外の詳細な検査を望む者に対して人間ドックの費用助成を行うことにより疾病の早期発見・早期治療を後押ししている。	人間ドック助成は、被用者保険でも同様に実施されている。	
4	健康 こども 部	●	口腔の健康維持、 向上のため の支援	歯の喪失を防ぐため、成人歯科検診の機会を通して口腔衛生指導を行うとともに、健康ポイントの対象事業に組みこむなど、受診意欲を高める工夫をする。	④	成人歯科検診の受診率は昨年度よりやや減少した。	B (B)	令和5年度から対象者を拡大したため(40歳のみ→40.50.60.70歳)KDBシステムを活用した受診勧奨を行ったが、受診率は伸び悩んだ。		◇歯科医院の協力を仰ぎ、WEB予約のできる歯科医院や、子連れ受診が可能な歯科医院のリストを作成した。 ◇4月通知の文面を工夫し、早めの予約を促す内容にしたり、検診所要時間(平均)を示して予定の見通しが立つようにした。 ◇KDBシステムを活用し糖尿病の既往がある者や1年間歯科通院歴がない者に対して、アプローチしている。 9月に未受診者へ受診勧奨通知を行う。
						受診した者のうち、過去1年間に歯科受診をした者の割合が過去最高値であった。(58.4%)		定期的(年に一度は)歯医者さんへ」等の啓蒙・周知をしている	定期的(かつ自主的に)歯科医院を受診する者の増加が見込まれる。	

凡例 ●実績値 —期待値

指 標 ①		指標の説明								指 標 ②		指標の説明								指 標 ③		指標の説明							
在宅療養・在宅介護を希望する人の割合		調査回答者の中で介護が必要になった時に、在宅療養・在宅介護を希望すると回答した人の割合								心身ともに健康だと感じる人の割合(70歳代以上)		市民意識調査で「心身ともに健康だと感じる」と回答した70歳代以上の割合								健康福祉ポイント付与3000ポイント以上達成者の人数		健康診断及び検診の受診、運動等の健康づくり活動に付与される健康福祉ポイントの付与達成者の割合							
																													
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
福祉部	%	実績値	53.9			56.0				福祉部	%	実績値				39.30	61.1			健康こども部	人	実績値	-	0	0	268	528		
		期待値 ※R7は目標値	53.9	54.9	55.9	57.0	58.0	59.0	60.0			期待値 ※R7は目標値				39.30	46.2	53.1	60			期待値 ※R7は目標値	-	0	160	320	480	640	800
		備 考		未実施	未実施		未実施					備 考	未実施	未実施	未実施							備 考							
指 標 ④		指標の説明								指 標 ⑤		指標の説明								指 標 ⑥		指標の説明							
成人歯科検診受診率		定期的に歯科検診を受けている者の割合								後期高齢者健康診査受診率		後期高齢者医療制度加入者に対する健康診査の受診率								特定健診受診率		40歳から74歳までの特定検診受診率目標値(国保加入者)							
																													
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
健康こども部	%	実績値	18.6	25.6	17.7	21.2	20			健康こども部	%	実績値	21.4	18.6	18.3	20.2	18.8			健康こども部	%	実績値	40.5	36	39.3	36.3	38.6		
		期待値 ※R7は目標値	18.6	19.3	20.1	20.8	21.5	22.3	23			期待値 ※R7は目標値	21.4	26.2	30.9	35.7	40.5	45.2	50			期待値 ※R7は目標値	40.5	43.8	47.0	50.3	53.5	56.8	60.0
		備 考										備 考										備 考							
指 標 ⑦		指標の説明								指 標 ⑧		指標の説明								指 標 ⑨		指標の説明							
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値										実績値										実績値							
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値							
		備 考										備 考										備 考							
指 標 ⑩		指標の説明								指 標 ⑪		指標の説明								指 標 ⑫		指標の説明							
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値										実績値										実績値							
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値							
		備 考										備 考										備 考							
指 標 ⑬		指標の説明								指 標 ⑭		指標の説明								指 標 ⑮		指標の説明							
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値										実績値										実績値							
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値							
		備 考										備 考										備 考							